



# 議会だより



- 3月定例会・第1回・第2回臨時会 ... P1
- 総務教育民生常任委員会報告 ..... P5
- 産業建設常任委員会報告 ..... P6
- 総括質疑 ..... P7
- 竹島対策特別委員会中間報告 ..... P10
- 請願・陳情・要望 ..... P10
- 討論 ..... P11
- 請願 ..... P11
- 一般質問 ..... P13
- 3月定例会採決 ..... P18
- 住民と議会との懇談会 ..... 裏表紙

# 令和8年度 当初予算198億8000万円 町民福祉の増進のために



## 令和8年 3月定例会

### 2. 投資的な経費 38億5274万円(予算の19.4%)

投資的経費 38億5274万円(前年比▲2.2%)

- 補助事業 30億8207万円(前年比 +2.2%)
- 単独事業 6億7989万円(前年比 ▲20.0%)
- 県営事業 8618万円(前年比 +33.2%)
- 災害復旧事業 460万円(前年比 +130.0%)

道路や公共施設の建設などの生活産業基盤の整備を行う普通建設事業と災害復旧にかかる経費である。

補助事業は、都市再生整備事業が増額(1億5295万円)等の要因で前年度と比較して6044万円増額となっている。

単独事業では、隠岐高齢者研修施設(自動車練習場)整備事業や蛸木集会所整備等が終了したほか、全体として抑制を図っている。

#### 【投資的経費の主な事業】

|               |               |
|---------------|---------------|
| 都市再生整備事業      | .....6億9642万円 |
| 港整備交付金事業      | .....3億2628万円 |
| 西郷小学校大規模改修事業  | .....2億5294万円 |
| 港整備港湾改修事業     | .....2億4142万円 |
| 安全安心な道路整備事業   | .....2億441万円  |
| 私立保育所運営事業     | .....2億59万円   |
| 通学路安全対策整備事業   | .....1億7924万円 |
| 一般廃棄物処理施設整備事業 | ...1億7330万円   |
| 道路構造物維持管理推進事業 | ...1億6139万円   |
| 清掃センター管理運営事業  | .....1億5730万円 |

3月定例会が2月27日から3月13日まで開催されました。提出された議案は、一般会計及び特別会計当初予算のほか、条例の一部改正・改廃、工事請負変更契約、教育長の任命同意案件など37議案と、産業建設常任委員会から提出された附帯決議の計38議案で全て可決承認しましたが、予算・条例・請願には5名の議員が「賛成討論」「反対討論」を行いました。継続審査としていた令和7年の請願第4号は賛成少数で「不採択」、請願第1号・請願第2号は賛成多数で「採択」としました。一般質問では9名の議員が町政を質し、総括質疑では11名の議員が質疑を行いました。

### 主な予算(歳出)の概要

新年度予算は、物価高騰の影響が顕著となる中で、地域の諸課題解決と総合振興計画の着実な推進のため、新たな財源確保にも努め、限られた財源を重点的に配分し、財源不足の対応として財政調整基金・減債基金から繰入れをしている。その結果、一般会計予算総額は令和7年度と比較して4億1000万円、率にして2.0%減額の198億8000万円となっている。

歳出予算の主なものは、西郷港周辺まちづくりの拠点施設の「海に見える交流館建設事業」や「西郷小学校大規模改修事業」、17回目を迎える「全国離島中学生野球大会」が10年ぶりに隠岐の島町で開催されるための関係経費を予算措置している。また、一般廃棄物処理施設整備事業や「フェリーしらしま」の後継船「フェリーしげさ」の建造事業、高速船レインボーの大規模修繕事業など、社会基盤を支えるための重要なインフラ整備の予算も確保している。

(注)▲は前年比マイナス

### 3. 物件・補助費の経費 73億2052万円(予算の36.8%)

物件費 22億1983万円(前年比▲5.4%)

事務事業に必要な消費的性格の経費で、旅費・需用費・委託料などとして支出されるもの。

令和7年度に自治体システム標準化事業が大部分終了したことにより減額(▲2億2949万円)した一方で、小中学校のタブレット更新事業(5720万円)の増、物価高に伴う委託料等の増により、全体では前年度より1億2583万円の減となっている。

補助費など 51億69万円(前年比▲11.6%)

消防・病院などの広域行政(隠岐広域連合等)に対する負担金のほか各種団体や事業に対する補助金等の経費。

隠岐広域連合負担金は、フェリー新造船事業負担金の減額や消防無線システム整備事業、診療所の電子カルテシステム整備事業の終了により6億4105万円の減額となり、前年度より6億7009万円の減額となっている。

### 4. その他の経費 12億6048万円(予算の6.3%)

その他の諸経費をまとめている。

### 1. 義務的な経費 74億4616万円(予算の37.5%)

人件費 26億5977万円(前年比+0.1%)

町三役3名、職員262名(一般会計のみ)と議員14名、会計年度任用職員の雇用費を見込み、前年度とほぼ同水準となっている。

扶助費 17億4668万円(前年比▲0.0%)

児童福祉費、高齢者福祉費及び障がい者福祉費など社会福祉制度に基づく経費で、前年度とほぼ同額となっている。

公債費 30億3971万円(前年比+18.1%)

町の長期債務(町の借金)の返済(償還金)にかかる経費で、近年に実施した大規模事業の元金償還が始まったことや、令和5年度に行った繰上償還の効果がなくなったことに加え、利率も大きく上昇していることで前年度と比較して4億6694万円増額となっている。

# 令和8年度隠岐の島町会計別予算総額 223億5010万円

## 基金(町の貯金)は大丈夫かな？

財政調整基金等の基金の状況は令和7年度末で残高30億2256万円、更に令和8年度末残高は24億5546万円と見込んでおり、依然として厳しい財政状況であり早急な対応が求められる現状である。

令和8年度隠岐の島町の予算は一般会計198億8000万円のほか、4つの特別会計予算を含めて総額は223億5010万円となっている。

|                 |            |
|-----------------|------------|
| 一般会計            | 198億8000万円 |
| 国民健康保険事業勘定特別会計  | 19億710万円   |
| 駐車場事業特別会計       | 2730万円     |
| 中財産区特別会計        | 150万円      |
| 後期高齢者医療保険事業特別会計 | 5億3420万円   |

## 新規事業と特徴的な事業

| 【ソフト事業】            | 予 算 額    |                     |
|--------------------|----------|---------------------|
| 離島甲子園事業            | 5489万円   |                     |
| 教育環境基本計画策定事業       | 697万円    |                     |
| 国民スポーツ大会準備事業(相撲)   | 1946万円   |                     |
| 【ハード事業】            |          |                     |
| フェリー建造負担金          | 6億5067万円 | 令和6年～令和9年           |
| 高速船改修負担金           | 6億6106万円 | 大規模改修令和7年～令和8年      |
| 隠岐汽船乗船システム整備負担金    | 9215万円   | 隠岐広域連合負担金           |
| 離島甲子園関連施設          | 2472万円   | グラウンド整備等            |
| 第一保育所整備補助金         | 2億59万円   |                     |
| 一般廃棄物処理施設整備事業      | 1億7432万円 | 設計等(最終処分場・漂着ごみ破碎施設) |
| 隠岐ポートプラザ改修事業       | 1億773万円  |                     |
| 都市再生整備事業(西郷港まちづくり) | 6億9642万円 | 海の見える交流館整備等         |
| 西郷小学校大規模改修事業       | 2億5294万円 | 令和7年～令和10年          |
| 教育情報化推進事業          | 5764万円   | 小中学校学習用タブレット端末整備    |

# 徹底検証！

西郷港周辺まちづくり事業は本当に大丈夫か？

都市再生整備事業  
6億9642万円

産業建設常任委員会では、長年にわたり町民のための事業展開を希望しており、徹底して関係住民との対話を図るよう指摘し、令和5年度には予算の修正案を可決した経過もあります。

本年の予算審議においても「海の見える交流館建築工事」に伴う町道計画で、町道の幅員縮小や車両通行止めなどの提案に対して徹底検証した結果全会一致で予算に対する附帯決議を提出する必要があるとの結論に達しました。

産業建設常任委員会委員長名で発委第2号が追加提案され、賛成多数で可決しました。

※発委第2号の内容は以下のごとおりです。

## 発委第2号 西郷港周辺まちづくり事業「海の見える交流館建築工事」に伴う町道計画に対する附帯決議

西郷港周辺まちづくり事業「海の見える交流館建築工事」に伴う町道計画について、隠岐の島町が令和8年度予算計上している西郷港周辺まちづくり事業のうち「海の見える交流館建築工事」に関連して計画されている町道の幅員縮小及び車両通行止めを含む路線計画について、請願を出された住民から、歩行者の安全性や生活道としての利便性が損なわれることへの懸念、並びに計画に対する住民説明が十分ではなかったとの理由により、計画の一部見直しを求める請願が提出されている。

本事業は、西郷港周辺のにぎわい創出や観光振興を図る重要な事業である一方、当該町道は地域住民の日常生活に密接に関わる生活道路でもあり、その安全性及び利便性の確保、また計画への住民理解は極めて重要である。

よって町に対し、次の事項を強く求める。

1. 町道の幅員縮小及び車両通行止めを含む路線計画について地域住民に対し十分かつ丁寧な説明をすること。
2. 歩行者の安全性及び地域住民の生活道路としての利便性が確保されるよう、必要に応じて計画内容の見直しを含めた検討をすること。
3. 上記の協議及び進捗状況を所管の常任委員会に報告を行い、住民の理解が得られたことを確認した上で、慎重に予算を執行すること。

以上、決議する。



## 第1回臨時会

第1回臨時会が2月17日に開催され、一般会計補正予算や補正予算の専決処分・工事請負変更契約の締結など5件を全会一致で可決しました。また、竹島対策特別委員会の発議による「竹島領有権回復への取り組み強化及び特別措置法の制定を求める意見書」を全会一致で可決し関係省庁に提出することとしました。

### ■一般会計補正予算の専決処分

物価高対応子育て応援手当支給並びに小中学校の給食費減免の経費や本年1月寒波による除雪経費、衆議院解散に伴う選挙費用など6071万円の増額です。

### ■一般会計補正予算

重点支援地方交付金を活用したプレミアム商品券事業費など1億3838万円の増額補正です。

### ■隠岐島油槽所工事請負変更契約

当初想定していた工事の一部が不要となり減額の変更契約です。

### ■西村港防波堤改修工事請負変更契約

海底障害発生により、工事を増工するため増額の変更契約です。

## 第2回臨時会

第2回臨時会が3月27日開催され「隠岐の島町過疎地域持続的発展計画」の1件を、全会一致で可決しました。

委員長 牧野 牧子

委員長 齋藤 則子

委員会に付託された、条例の一部改正、第2期水産業振興計画、令和8年度一般会計予算、他の議案は原案通り全会一致で「可決すべし」とし、海の見える交流館建築工事に係る町道の現状維持を求める請願第1号、第2号は全会一致で「採択すべし」、政府に所得補償制度を求める令和7年請願第4号は委員長裁決で「不採択すべし」とした。

委員会に付託された案件のうち、議第13号の国保条例の一部改正、議第28号の国保特別会計当初予算は賛成多数で「可決すべし」とし、その他の条例制定・改正・廃止、工事請負変更契約の締結、財産の無償譲渡、令和8年度一般会計及び特別会計当初予算、第2期総合保健福祉計画は、すべて全会一致で「可決すべし」とした。



地域住民の声を生かしたまちづくりを!

都市再生整備事業 6億9642万円 「海の見える交流館建築工事」に伴う町道計画で、町道の幅員縮小や車両通行止めなどの提案に対し徹底して議論した。 委員からは「住民への説明が不十分だ」「計画に理解が得られていない」など多くの意見があり、都市再生整備

審査の状況

附帯決議を提出

西郷港周辺まちづくり事業

事業関連予算に対し附帯決議を提出する必要があると判断し、全会一致で附帯決議案を提出することにした。 清掃センター及びリサイクルセンター電

請願の審査 請願第1号・第2号 町道幅員および車両通行の現状維持を求める請願

請願の内容 請願第1号 ポートプラザ館南側く西郷郵便局の幅員を減少させず現状維持を求めるもの。

令和7年継続審査としていた案件 請願第4号は令和7年12月定例会で「本町農業者の実情調査が未実施である」として継続審査としていたが、

国民健康保険条例の一部改正及び国保特別会計予算 子ども・子育て支援給付金制度の創設に伴い国保税を増額する条例改正とそれに伴う予算案である。 担当課から「被保険者の負担軽減を図るため税率を据え置くが、子育て支援納付金分は、新制度のため標準保険料率とする。被保険者1人当たりの月額

高齢者福祉施設には指定管理料は支給しないとしていた方針を変更し、社会福祉法人ふれあい五箇に本年度から支給するもの。 委員からは「指定管理料と補助金は根本的に適用される法が違う。併用できないのではないか」との意見があり、担当課からは「指定管理料と補助金は性格が違うが併用は問題ない」との回答があった。

図書管理運営事業 3660万円 委員からは、「前年度に比べ約590万円減額になっているが、図書館は町民の文化活動の中心的役割を担っており、特に郷土資料アーカイブ事業は郷土資料を整理する人件費の削減はするべきではない」との意見があり、担当課からは「指摘を受け止め今後対応を検討する」との回答があった。 委員会としては、大



図書館の郷土資料棚

布施公民館指定管理料 1429万円 公民館は社会教育にとつて大変重要な施設であるが、指定管理料は約243万円減額となっている。 委員からは「財政上の理由から人件費を減らすべきではない」「中地区の公民館の立ち上げを急ぐべき」などの意見もあり、委員会としてもしっかり取り組むよう指摘した。 国民スポーツ大会開催地準備事業 委員からは「203

選挙執行体制見直しによる影響調査 担当課から、投票所の減と投票率低下の関係性についての影響調査報告があった。 特に高齢者の投票率低下について委員からは「投票所を減らしたことが原因ではないか」「投票所を増やせないのであれば、臨時期日前投票所を増やすべきではないか」などの意見があった。 担当課からは「当面の間は現行の執行体制を維持する。可能な限り高齢者に配慮した投票環境の整備について検討していく」との回答があった。 委員会としては選挙は国民の権利と義務が一つになった機会であり、町民の権利が制限されないように特に要望した。

YouTubeで録画視聴できます



「総括質疑(そうかつしつぎ)」は、主に条例や予算を審議する際に数字や事業の妥当性をチェックする質疑です。

議員はここに**着目**した!

# 総括質疑

提出議案  
に対する

## 隠岐―出雲路線の 運行費補助金は

齋藤則子議員

議員 隠岐―出雲路線の運行費補助金について、令和8年度予算が役313万円で令和7年度の約666万円から半減している。この理由は、

商工観光課長 J A C

日本エアコミュニケーションから、昨年この路線は赤字であるという説明があった。しかし、搭乗率は高くなっており、島民にとって欠かすことのできない本路線の運行継続のために、島民の運賃助成とは別に、赤字予測額相当を国2分の1、



隠岐―出雲便の安定就航を

県4分の1、町4分の1の約313万円を支援する補助金である。

議員 「機材調達が出来ないので欠航する」という放送が頻繁にあり、住民は不安になり不便を感じている。その補助金が半減しているが、これで問題はないのか。

副町長 昨年度運賃が5800円に値上がりしている。その値上がり分を有人国境離島法の補助金で賄っており、国、県、町の出し分は増えている。全体の収入が増えたので赤字補填分は減ったということである。

## 代14号線道路改良 工事は

前田芳樹議員

議員 なぜ令和11年度までも、または先送りするのか。何年も延び延びにされてきた。令和4年3月8日の答弁では、令和2年度に測量設計を完了済み、6年度工事着手、7年度完成予

定であった。工事遅延と先延ばしの理由は、

建設課長 国庫補助金の配分で着手を1年繰り下げた。補助金の受給現況を勘案して期間を5年間に見直した。

議員 この事業は、令和7年度当初予算で2416万円で議決がされている。予算の流用状態にある。議決までしているのになぜ実行しないのか。トンネルの中の車道幅が最大の目的だが、未だに手をつけていないが。

建設課長 令和8年度からトンネルの中の歩道部分の撤去に向う。

議員 地域の人々は「今か、今か、早くやって欲しい」と待ってきた。補正対応で8年度末までに完了してはどうか。地域にはしっかりと説明を。

副町長 地域への説明はしっかりとやらなくてはならない。

村上 一議員

議員 代トンネル道路全部の完成は令和11年

度までかかるのか。

建設課長 令和7年度にトンネル出入口部分の拡幅が完了し、令和8年度はトンネル内を行う。その後令和11年度まで順次施工をすすめる。



代トンネル改良の早期実現を

## 道路・橋梁・河川・ 港湾整備の土木費は

村上 一議員

議員 土木費の優先順位と整備計画はどうなっているか。

建設課長 第一に公共の安全維持で緊急を要するもの、併せて総合振興計画の事業の優先度を高くしている。計画は毎年更新してホームページで公表している。

## 都市再生整備事業は

村上 一議員

議員 海の見える交流館周辺道路の幅員を減少しないように建物の位置をずらすなど設計変更はできないか。

都市計画課長 建築基準法や契約上の問題があり困難である。

高宮陽一議員

議員 議案資料の海の見える交流館を見た時、周りど景観が違うと思った。この建物の基本的な考え方はどうか。

都市計画課長 建物の形状は、まちづくりの理念である「海とまちをつなぎ、そして世代をつなぐ」というコンセプトを全国のコムペによって具体的に提案されたもの。具体的には、海側から出雲大社へと抜けていく軸線を設定されているデザインで町の歴史的な流れを可視化しているという解説があり、魅力ある玄関口の拠点とな

るトータルなデザインだと考えている。

議員 この建物を建てるために周りの住民の生活圏や今まで生活してきた環境が壊されているのではと心配している。道路の幅員を狭くしたり一部侵入禁止の場所を設定することは、地域住民にとっては大きな問題だ。町長も常に「住民との対話をもって」と言っているの、このことを大切に取組むべきではないか。

都市計画課長 今後も対話を進め取組む。

## 移動販売継続支援 事業は

村上 一議員

議員 新規の事業者がでてきた場合の支援はどのように計画しているか。

商工観光課長 新規の要望には必要に応じて経費を補正して対応する。



助かっている移動販売

## 脳トレピアノ資格 取得は

石田茂春議員

議員 脳トレピアノ資格とは。

布施教所長 初級認定準講師から認定講師まで4段階ある。8年度は残り2段階である。

議員 費用は支援費活動費に含まれているか。

布施教所長 含まれる。

## 小売店等開業支援 事業は

石田茂春議員

議員 どのような職種か。どの地区で開業か。Uターンか。

## 自営就農開始支援 事業は

石田茂春議員

議員 総事業費はいくらか。どの地区でハウスを建設するか。地元の人またはUターンの人か。

農林水産課長 総事業費約3000万円である。五箇地区でハウス3棟建設。地元の人でUターンである。

## 森林環境譲与税活 用事業の12事業は

村上謙武議員

議員 令和8年度の森林環境譲与税は7100万円が歳入予算に計

上されているが、予算説明資料にある活用事業12事業に対して、環境譲与税はどのように配分されているのか。

財政課長 現時点で、具体的にどの事業にいくら充てるということは説明できないが、令和8年度の決算が終えてから、ホームページ等での事業にいくらか森林環境譲与税が使われたかを報告することになっている。

議員 活用事業12事業の中に、高性能林業機械の導入事業や後継者育成に関する事業が入っていないが、令和8年度はこれらの事業は行われないのか。または、これらの事業に対して森林環境譲与税の配分はされないのか。

財政課長 高性能林業機械導入事業等に対して、森林環境譲与税は当然充てることができ。今後、これらの補助事業に対しての採択がされれば、担当課から予

## ふるさと応援基金 の使い方は

西尾幸太郎議員

議員 令和8年度はふるさと応援基金を取り崩すと例年通りのふるさと納税の寄付金額では23年後には応援基金が底をつく。基金の使い方の計画はあるか。

財政課長 財源確保のため、財政調整基金や減債基金を維持しつつ、地域振興基金や応援基金を一般財源として活用する方針である。支出抑制と並行し、ふるさと納税などの新規財源確保に注力し、持続可能な予算編成を目指す。

## がんばれ島のキッズ 島外遠征事業補助 金の制度変更は

西尾幸太郎議員

議員 令和8年度に制度の変更を行う予定だが、事前に保護者やスポーツ団体への事前説明や、変更による子育て家庭への経済的な影響調査を行ったのか。また、どのような理由で制度変更を行うのか。

社会教育課長 変更の周知は行う予定であるが、事前説明や各家庭への経済的な影響調査は行っていない。制度変更の理由は財政的な面と、事務手続きの面で見直しを行った。



夢を広げる島外遠征

# 竹島対策特別委員会 中間報告

委員長 前田芳樹

**佐々木家住宅の管理運営は**

山田浩太議員

議員 開館時間短縮の周知は十分か。ネット情報を更新を徹底し、観光客の利便性を守るべき。

**社会教育課長** ホームページや観光事業者への文書で周知する。

Google(グーグル)マップ等の情報管理にも留意したい。

**基幹業務システム標準化は**

山田浩太議員

議員 国が進めるガバメントクラウドにより、本町のシステム維持費が5年で約4億円と保守費が20倍に激増する。

多額の投資に見合う住民サービス向上や効率化の展望は。

**総務課長** 将来的にオンライン申請拡大や添付書類省略が可能になる。当面は国が財政措置する見込みだが、経

費抑制に努める。

**テレビ難視聴地域対策は**

山田浩太議員

議員 全域整備の計画と住民負担への配慮は。

**総務課長** 順次改修を進めるが、全域整備の目途は精査中。補助金を活用し地元負担軽減を図る。

**学習用端末の更新は**

山田浩太議員

議員 iPad(アイパッド)からChromebook(クロームブック)へ移行する理由と、旧端末の活用策は。

**総務学校教育課長** 高校との接続性や性能面



更新される旧端末の再利用を

で判断した。旧端末は学校での再利用や売却も含め検討する。

**社会福祉費は**

松山貢議員

議員 障がい者福祉費・高齢者福祉費・介護対策費のうち調査・研究・企画・広報活動の予算等は実質的にどのよう

に賄っているのか実態は。

**住民福祉課長** 調査研究等の活動は国である。県の動向、制度を注視し実施している。予算的には各協議会・委員会等の開催経費である。企画広報は啓発、講演、養成講座、育成の経費として

議員 企画広報の活動は外部委託が少ないと考える。その費用と内製の時間的コストのバランスを図り、サービスの向上と住民福祉への更なる充実に取り組んでいると思うが、パンフ等の予算状況は。

**住民福祉課長** 主なものは担当者で立案、印刷し内製としている。

**障がい者就労支援を担う地域おこし協力隊の活動は**

牧野牧子議員

議員 協力隊はどんな方で、何を目的に配置されているのか。

**住民福祉課長** 隊員は障がい者就労支援の経験者で、障がいのある方の就労・生活支援や企業への理解促進を目的に採用している。障がいのある方の相談支援や雇用理解のための啓発、研修や既に働いている方々同士の交流促進を行っている。主に町内約200社を訪問し、障がい者雇用の啓発や受け入れ先の開拓を実施。福祉関係者と企業をつなぐ交流イベントも開催している。また、専門的な知識を持つ「ジョブコーチ」という資格を活かして職場適応支援に

も取り組んでいる。議員 「ジョブコーチ」資格を活かし、どれくらいの訪問数を予定しているか。

**住民福祉課長** 令和7年度同様200社を予定している。島内外にアプローチしていく。

**通所介護サービス等確保対策事業費補助金は**

脇田千代志議員

議員 補助金は前年度実績で渡し切りとなるか。

**住民福祉課長** 予算は前年基準だが、交付は当該年度の実績に基づき年度末に確定させる。

議員 利用回数差が個人負担に影響するか。

**住民福祉課長** 補助金は事業者への支援であり、介護保険制度に基づく個人の負担割合には一切影響しない。議員 指定管理料との関係や精算ルールについて示されたい。

**住民福祉課長** 指定管理料との併給を認め、単年度の黒字分を返還させる「精算」は行わない。法人の次期事業への繰越を容認しつつ、長期的な収支は将来の管理料算定に反映させる。



持続可能な介護サービスを!

## 「竹島領有権回復への取り組みの強化と特別措置法の制定を求める意見書」を政府へ提出

「竹島問題の解決の促進のための特別措置に関する法律」を早期に制定し、国による竹島領有権回復に向けた取り組みの強化と隣接地域振興施策を推進することを求める意見書を令和8年2月17日の臨時会で全会一致により議決し、政府関係機関へ提出した。

北方領土問題では、昭和58年から特別措置法が施行され、毎年約17億円の措置費が国から拠出されることも、10箇所の大きな啓発施設が設置運営されている。さらに、同法施行時には100億円規模の隣接地域振興基金が別途設置され、現在では費消も可能とされている。

北方領土問題には政府を挙げた対策と膨大な措置費が拠出されているのに比較して、竹島問題へは政府による領有権

回復対策と措置費対応がなされていないことが調査の結果として判明したため、その格差是正を求めたことでもあった。

2月22日「竹島の日」記念式典への参加

「竹島の日」記念式典が開催され、当委員会の委員5名が参加をした。日本政府の閣僚の出席もなく、残念であった。日本政府が本格的に取り組まないことに対する打開策を打ち出さなければならぬのは確かである。



竹島問題を強く訴える池田町長

### 竹島領有権回復への取り組みの強化及び特別措置法の制定を求める意見書

- 竹島問題の解決の促進及び領有権回復に向けた取り組みを総合的かつ計画的に推進強化するため、北方領土問題の特別措置法と同様の「竹島問題の解決の促進のための特別措置に関する法律」を早期に制定すること。
- 同法には、隠岐諸島及び島根県全域を竹島問題の隣接地域として位置付け、同法に基づき、啓発活動の充実及び地域振興施策を推進すること。

### 皆さまからの請願・陳情・要望

| 件名   | 提出者  | 審査結果 |
|--|--|------|
| 請願<br>令和7年請願第4号：<br>政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める請願書                 | 島根県農民運動連合会<br>会長 田食道弘<br>紹介議員：村上一                | 不採択  |
| 請願<br>請願第1号：<br>ポートプラザ館と旧いりふね並びにサカータ間の町道の幅員の現状維持を求める請願         | 西郷中町町内会連合会<br>会長 大田耕士 他役員10名<br>紹介議員：山田浩太 / 村上謙武 | 採択   |
| 請願<br>請願第2号：<br>中町地内町道灘通りの車両通行に関して現状維持の決議を求める請願                | 西郷中町町内会連合会<br>会長 大田耕士 他役員10名<br>紹介議員：山田浩太 / 村上謙武 | 採択   |
| 陳情<br>東京都新宿において顕著化した事例を受けて、政党機関誌の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情 | 東京都葛飾区東新小岩 1-1-1-401<br>浜田聡(前参議院議員)              | 配付   |

請願第1号・ポートプラザと旧いりふね並びに  
サカータ間の町道幅員の現状維持を求める請願

議案などに対して、賛成または反対の立場から自己の意見を述べ、他の議員の賛同を得ようとする議会の制度です。単なる意見表明ではなく、論理的な理由を挙げて議決の方向性を促す、議会運営における重要なプロセスです。

# 討論



**反対**

齋藤 則子議員

様々な住民の声があり  
継続審査を

町から住民側に説明が十分な点があったことは、この請願書が提出されたことから推測できる。一方で「アイノマゲート」の住民説明会は行われてきており、私が参加した時は参加者がとても多く、活発な意見交換が行われていた。さらに、今常任委員会の最終日に、所管課から開発地区の大変見やすい設計図等が提示され、請願書が出されている車道の説明も、歩道と車道がフラットな作りになっていて、ちょうど中町目貫通りがツートンカラーでフラットな作りにな

なっているという前例がある。現行の道路より若干狭くなっているとはいえず、現状以上の狭苦しさは感じられないし、むしろ、利便性が増すように考えられる。また、地権者からの意見書が参考資料として提示された。この意見書の事も考慮すべきだったと思う。以上の理由から、継続審査とすべきと考える。

**賛成**

村上 謙武議員

道幅維持と  
安全確保を

請願第1号は、中町町内会連合会会長他役員10名の皆様から提出されたもので、「海の見える交流

館」建設により町道142号線が現状より1.2mから1.7m程度狭くなるため、道幅の維持を求める内容である。

ポートプラザ館周辺は車両通行量が多く、特にフェリー出入港時は歩行者と車両で混雑する。道幅が狭まれば、車両の離合や歩行者との距離において危険度が高まることは自明の理である。

交通と暮らしの安全を願う住民が現状維持を望むのは当然の願いであり、仮に町がこれに反するま

ちづくりを行えば、町長が目指す「住んで良かった」と思えるまちの実現は困難になる。

町は、請願者や地域住民に真摯に向き合い、住民が納得する形での建設工事に向け最大限努力することが行政としての責任ある対応であると考え、請願第1号の採択に賛成する。

請願第2号・灘通りの車両通行  
に関して現状維持を求める請願

**反対**

齋藤 則子議員

安全性の観点  
から継続審査を

「中町地内町道灘通りの車両通行に関して現状維持の決議を求める請願」についても、通行止めの道路は狭く、あれだけの距離の通行止め、つまり通り抜けできないようにするのは、安全上、大変良い政策と思う。その観点から、請願第2号に関しても継続審査とする。

**賛成**

山田 浩太議員

住民との  
再対話と合意を

請願第2号の背景は、執行部が進める計画において、地域住民との合意形成が欠如している点にある。住民不在のまま、生活や商売の基盤を脅かす計画を強行することは、公共の福祉に反すると考える。本来まちづくりとは、次世代の子どもたちが誇れる島をつくることであるはず。箱物の建設や道路改修を目的化せず、住民の不安に真摯に向き合い、双方が歩み寄れる着地点を探り、執行部と住民による再対話の場を設けることを強く求める。

## 国民健康保険事業

### 条例の一部を改正

**反対**

村上 一議員

増税によらぬ  
子育て支援を

本条例改定は、子ども子育て支援のための財源を広く国民から集めるために、国保税に「子ども子育て分」を上乗せすることを決めるものであり、一人当たり月平均3000円が増税になる。

日本共産党は、子ども子育て支援はしっかりとやるべきだが国民に負担増を求めるのではなく、国が予算措置をすべきで、国がやらないのであれば、地方自治体が住民を守る防波堤とならなければならぬという立場であり、この条例案には反対である。

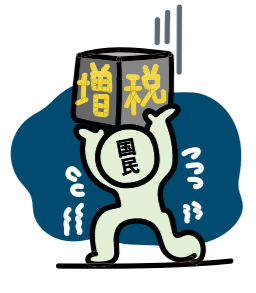
### 特別会計予算

**反対**

村上 一議員

増税せず  
財源確保を求める

今回の予算案では、「子ども子育て分」として一人当たり月平均3000円が増税となる。基金を取り崩すか一般会計から繰り入れるなどして増税にならないようにすべきで、予算案には反対である。



## 令和8年度 一般会計予算

### 反対

村上 一議員

住民合意のない  
予算案には反対

一般会計予算の「都市再生整備事業」のうち「海の見える交流館建築工事」に5億6000万円が計上されている。中町町内会連合会から「海の見える交流館」周辺道路の整備計画について反対する請願書が出され、また西郷港周辺地区地権者会からは計画の推進を求める意見書が提出された。このような状況は、町が進めている計画が、住民の対立と分断を生んでいるというのではない。

日本共産党は住民の合意なき事業はやるべきではないという立場である。担当課からは、今まで説明不足だったことへの反省

と今後しっかりと説明し合意を得ながら進めていくとの報告を受けてはいるが、来年度、建設工事が始まるこの段階で、今のような状況ではこのまま事業の予算を認めることはできないので予算案に反対する。

## 西郷港周辺 まちづくり事業 附帯決議案

**賛成**

脇田 千代志議員

相互理解による  
事業執行を

附帯決議案の理由並びに確認項目のとおり、町執行部が住民の皆様のご理解とご協力を得て、相互理解のもとに予算と事業の慎重な執行が担保されることを期待して、本附帯決議案に賛成する。

## 議会モニターの皆さん



田本 凌さん 門脇 裕さん 藤野 定幸さん

## 議会モニター会議

令和8年3月27日、隠岐の島町議会にて「議会モニター会議」を開催いたしました。

当日は3名の議会モニターの皆様にご参加いただき、現在の議会運営のあり方や、町民の皆様へのより効果的な情報発信の手法などについて、多角的な視点から活発な意見交換が行われました。

いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、より開かれた、さらに透明性の高い議会運営の実現に向けて、今後の議会改革の参考にさせていただきます。

# 町政をただす！ 一般質問

「一般質問(いっばんしつもん)」は、議員が自由にテーマを設定し、町政に対して提案・追及する質問です。

YouTubeで全編公開中！  
紙面上、質問と答弁は要約した内容になっています。  
QRコードからYouTubeにて視聴できます。



**村上 一 議員**  
まちのなかま まいっぺい  
YouTubeで視聴できます

**Q** 国保税を引き下げよ  
**A** 負担軽減を図りながら取り組む

**質問** 国保税を下げたいという町民の要求に応え、基金をとりくずして引き下げるべきでないか。

**町長** 物価高騰の中、国保税の負担が大きいことは十分承知しているが、県内19市町村で13番目と低い水準であり、負担軽減を図りながら安定的な財政運営に取り組み。数年後に予定されている県内保険料統一後は基金を税率の引き下げに活用で

きなくなるので、それまで計画的に基金を取り崩しながら税率の見直しをしていく。

**質問** 県内保険料の統一はいつになり、税率はどうなるか、その時点で基金はどれくらいあればよいのか。

**担当課長** 統一は令和15年で税率は引き上げの予定である。基金がどれくらい必要かは今後精査していく。

**Q** 補聴器購入助成制度を導入せよ  
**A** もう少し調査して検討する

**質問** 高齢者の難聴が認知症のリスクを高めることにもなり、補聴器購入助成制度を求め、町民の声も多いが、町長の所見は。

**町長** 補聴器を使用することによって生活の質の改善に結びつき、助成制度を望む意見があることは認識した。

**質問** 現在、県内10市



町が2万円から2万5千円の補聴器購入助成制度を導入している。隠岐の島町でも導入すべきではないか。

**町長** 身体障がい者については身体障がい者福祉法による助成を、軽度・中等度難聴者に対しては、県や国の助成制度を活用する方針であるから、町独自の実施は考えていない。

**質問** 現時点では考えていないかもしれないが、他市町で導入が増えているので、前向きに検討すべきではないか。

**町長** きちんと把握していないので、もう少し調査をし、検討を進めていきたい。

**脇田 千代志 議員**  
わきた ちよし  
YouTubeで視聴できます

**Q** 洋上風力発電で漁業者の権利保護を得れば判断する

**質問** 国への情報提供を早期に行い「法定協議会」を設置すべきだ。これにより、漁業者は利害関係者(ステークホルダー)として法的地位を得て、専門的知見に基づく調査や漁業振興策の議論に主役として参画できる。

200億円規模の税収や地域共生基金など町の将来と漁業者の権利を法的枠組みの中で守るため、町長は直ちに決断すべきではないか。

**山田 浩太 議員**  
やまだ こうた  
YouTubeで視聴できます

**Q** 「隠岐びと」を育む教育を

**A** 現時点では考えていない

**質問** 人口減少対策の鍵となる「隠岐びと」の育成は、共働きや地域の希薄化により郷土愛が育ちにくい現状がある。子どもが島に誇りを持つ教育の仕組みが必要だ。町民へ地域課題を自分ごととするよう強く発信すべきではないか。

**町長** 学校・家庭・地域が一体となり、人との関わりを増やす環境づくりが重要だ。何かを求めるのではなく、協

**町長** 事業の誘致は自主財源確保の観点から大きな可能性を感じるが、基幹産業である漁業への影響は重大で慎重を要する。

まずは発電事業者が主体となり、漁業者をはじめとする関係者のコンセンサス(合意)を得ることが第一条件であり、合意が得られた段階で判断したい。



**Q** 豪雪を機に災害対応の検証を

**A** 状況報告を強化し不安解消に努める

**質問** 2月の豪雪で丸2日間も孤立した地区がある。緊急車両の通行を最優先するため、全面除雪にこだわらない「1車線先行除雪方



式」を導入できないか。また、閉じ込められた住民の不安を解消するため、防災無線等で除雪状況や開通見通し等の適時適切な情報発信が必要ではないか。

**町長** 1車線先行方式は、車両の立ち往生や事故の懸念があり慎重な検討が必要だ。

情報発信については、住民の不安解消に極めて重要であると認識している。今回の事例を教訓に、状況報告やアナウンスの頻度を強化し、安心感を与えられる情報伝達体制の構築に努めたい。

**Q** 地元商店を守るための具体的かつ早急な対策を

**A** 物価高等の影響は重く受け止め、速やかに具体策を提示する

**質問** 島外資本の進出や決済手数料の負担により、地元商店は危機的状況だ。一時的な商品券事業に留まらず、地元事業者を守る具体的かつ早急な対策を示すべきだ。

**町長** 物価高騰の影響は重く受け止めている。デジタル給付による消費喚起に加え、給食への食材提供拡大など地域内循環を強化したい。振興計画に基づき、速やかに具体策を提示する。





**Q** ACP(人生会議)への取り組みは  
**A** 現場に寄り添い、しっかり取り組む

**質問** この世に生を受けそして旅立つ、不変の摂理の中でACP(人生会議)への認識は。  
**町長** 本人が希望する医療、ケアを受けるため、大切にしていることや望みを自分自身で前もって考え、話し合い、共有する取組。それぞれ人生を歩み命を終え旅立つにあたり希望に添った対応が図られる事が大変重要と認識する。現場においての取り組みを進めていく。

**質問** かかるマンパワーと施設は減少傾向が高まり対応が不足するが。  
**町長** 介護の現場、指定管理料の見直し等によりなくさないよう維持し、寄り添いしっかり取り組む。

**Q** 実例の評価と展開は  
**A** 大変重要で、支援する

**質問** ACPをアットイベントで感動へ導き行政、医療、有志で織り成す成果を生んだ布施公民館等の実例評価と施策展開は。  
**町長** 大変重要な機会、支援する。人材、資源の情報収集し周知、理解促進する。

**質問** 関わる人々、組織へのサポートは具体的に取り組むか。  
**担当課長** ご本人様、行政職員含め医療介護の支援人材にも対応する。

**Q** 独自エンディングノートの立案は  
**A** 必要と認識し引き続き検討を進める

**質問** エンディングノートはご本人が旅立った後の事を含め人生整理や考えを書き記し家族等で共有する冊子である。立案し行政フォーローにより誰もが知るACP文化、風土醸成への考えは。  
**町長** 賛同する。抵抗感と愛着への配慮する。

**質問** 最前線で活躍する方々、職員等のトップとしての思いは。  
**町長** 一つだけ言えるのは「人としてどう寄り添っていかか」。しっかりとやっていきたい。



人生会議 旅立ちのときのために



**Q** 本町のベーシックサービスの確立は  
**A** 事業者が合意を得れば判断する

**質問** 近年、人口減少・少子高齢化の進行により、地方自治の行政運営は大きな転換期を迎えており、本町においても財政制約、人材不足、施設の老朽化様々な課題が顕在化している。すべての住民に生活を維持するために基礎的な行政サービスを保証すべきと考える。本町として、将来にわたり必ず維持すべき基礎的行政サービスをどのように位置付けして

いるかを伺う。  
**町長** 離島や中山間地区において都会と変わらぬ行政サービスを受けるよう「離島振興法」など諸々の措置法を十分活用し、先々を見据えた検討を行い将来にわたり安定した行政サービスを提供していく。

**Q** 高齢者の交通支援は  
**A** 状況報告を強化し不安解消に努める

**質問** 先ほどの答弁の中に私と共有する理念があり、具体的に政策としてつなげるべきと考える。  
高齢化が進む本町で、



高齢者の交通支援の充実を

移動手段の確保は生活そのものに直結する課題であり、住民からは既存の支援事業の中に民間とタイアップした違う手段の交通が欲しいとの意見も聞く。買い物、通院、行政手続きなど移動が困難な方の移動保障を基礎的サービスの位置づけとすべきでは。  
**町長** 高齢者の移動手段に対しては、公共交通機関のサービス・タクシー利用助成事業、自動車免許自主返納事業などによる負担軽減で、日常生活における移動の支援に取り組んでいる。



**Q** 危険家屋になる前の空き家解体にも助成を  
**A** 限られた財源では難しい。今後は県国に活動を進める

解体を希望すれば費用の一部を助成すべきと考える。  
**町長** 限られた財源の中で空き家対策を行う場合、一定基準を設けて補助対象を限定しなければ、本来補助すべき危険空き家に補助が届かず、倒壊や飛散により近隣住民の生命や財産を脅かす事案が発生する。  
**質問** 空き家問題は全国的な問題と考える。

我が町の首長、そして島根県町村会の会長として、国・県に働きかけ助成制度をつくることも首長の大きな仕事と考えるが。  
**町長** 空き家対策としては、離島振興協議会、全国町村会にはある。危険家屋にもならないものを補助対象になるようには要望していないが、今後さらに充実して、国・県と一緒に活動を進めていく。

**質問** 我が町には「空き家バンク」に登録していない家屋が多数あり、ほとんどの家屋がみすぼらしい状態である。所有者又は相続人が解体しようと思っても、相当な費用がかかるため、ためらっている状態である。しかし一方では「危険家屋」に認定された場合は、解体費用の助成がある。「危険家屋」になる前に



危険空き家になる前の空き家解体にも助成を



**Q** 新たな産業の育成における「戦略的な取り組み」とは  
**A** 島外企業との連携・枠組みを基盤に、新たな産業の育成に取り組むこと

木質ペレットを活用し、(株)鴻池組が発電事業を行うことで、安定した木質ペレットの需要を生み出し、雇用の創出にもつながっている。  
また、本町と連携協定を結ぶ複数の会社からも地域の活性化や、経済の持続的発展に向けた提案などをいただき、改めてパートナー企業的重要性を感じている。島外企業との連携の枠組みを基盤に、新たな産業の育成に取り組んでいく。

**質問** 令和8年度も、事務費の増加等で非常に厳しい予算編成を強いられ、歳入不足を基金の取り崩しで補う状況となったが、あと何年このような財政運営が可能であると考えているのか。基金の取り崩しを抑制するために、基金残高の数値目標を定めているのか。  
**町長** 予算編成では、町民の安全・安心な住民生活を守るために必要な施策は、基金を取り崩しても対応せざるを得なかった。基金残高の数値目標は定めてはいないが、一定額の基金の確保は必要であり、歳入の抑制と新たな歳入の確保により、基金に依存しない財政運営の確立が重要であると考えている。

**質問** 新年度の施政方針において、新たな産業の育成については、本町の特性を最大限に生かした「戦略的な取り組み」と、企業と行政が一体となり持続可能な形で発展させていくことが重要であると言われたが、本町における「戦略的な取り組み」とは。  
**町長** 本町で製造した

**Q** 歳入不足を基金の取り崩しで補う状況が続いているが今後の対応は  
**A** 基金に依存しない財政運営の確立が重要であると考える

木質ペレットの活用拡大を





# 住民と議会との懇談会 を開催します!



令和8年度第一回目の住民と議会との懇談会を下記日程にて開催いたしますので、会場へお越しいただき、皆様の声を是非とも私たち議員にお聞かせください。

開催日 **5月30日土**

申込不要

誰でも参加OK!

**昼**の部 13:30~15:30

開催場所 隠岐島文化会館

【出席予定議員】

西村・山田・齋藤・村上謙・西尾・安部・前田

開催場所 中出張所

【出席予定議員】

松山・村上一・脇田・牧野・菊地・石田・高宮

**夜**の部 19:00~21:00

開催場所 岬町集会所

【出席予定議員】

松山・西村・齋藤・菊地・西尾・石田・高宮

開催場所 五箇生涯学習センター

【出席予定議員】

村上一・脇田・山田・牧野・村上謙・安部・前田



昨年の懇談会の様子



## 広報広聴常任委員会

委員長 山田 浩太  
副委員長 西村 万里子  
委員 松山 貢 村上一 脇田 千代志 高宮 陽一

委員 脇田 千代志

編集後記  
今号では、新年度予算における「海の見える交流館建築工事」の町道計画について、丁寧な対話と慎重な事業執行を求め、本町議会として初めて附帯決議を行ったことをご紹介します。  
これからも町民に寄り添う議会であり続けるとともに、本事業が多くの方々に親しまれ、笑顔と感謝に包まれながら完成を迎えることを心から願っています。

次回定例会は **6月19日(金)開会予定** です。ぜひ傍聴へお越しください。

(日程は変更になる場合があります)